

帰趣の杜 松阪ペット霊園
春の彼岸会
合同供養式典のご報告

謹啓 早春の候、皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

早速ではございますが、先日3月26日に『春の彼岸会 合同供養式典』を無事に執り行いましたことをご報告申し上げます。あいにくの雨で御足元の悪い中、多くの方にご参加いただきました。

■読経の供養

高野山真言宗大僧正・松阪みろく院善福寺 長谷川祐宝ご住職に御導師をお勤め頂きました。



■皆様に般若心経のお唱えとお焼香



■ペットちゃんへのお手紙・朗読

お寄せいただきましたお手紙をご紹介します。気持ちのこもったたくさんのお手紙、ありがとうございました。

■洒水(しゃすい)灌頂のお水にメッセージを

ペットちゃんへの感謝の一言をご記入いただき、想いを水に溶け込ませました。



■法話

智辯学園和歌山小学・中学・高等学校 教諭 長谷川祐龍 先生をお招きしました。

- ・合同供養式典に繰り返し参加してくださる方、新しく悲しみに会われた方、皆思いは同じで一人ではない。ペットちゃんの魂、慈悲の心など、『見えない世界』をもとに『見えている世界』の皆が集っている。『見えない世界』と『見えている世界』はひとつである。
- ・『暑さ、寒さも彼岸まで』は、極端な思いから離れることを表現した言葉。
「生きて帰ってきて欲しい」という思いに捕われると心に苦しみ（ペットロス）が生まれる。これを和らげる修行の期間が『お彼岸』で、その方法は出会えたことへの「ありがとう」の気持ちを大きくしていくこと。
- ・お彼岸は昔『日願』と書いた。すべての命の源である太陽にすべての生命が安らかであるようにと願った日でもある。

と、お話いただきました。



■合同慰霊碑にてお塔婆への洒水(しゃすい)灌頂

ご参加の方々にお塔婆を合同慰霊碑にお運び頂き、想いをこめたお水で洒水をしていただきました。



以上、書中をもちまして、合同供養式典のご報告とさせていただきます。

今後とも、亡くなられたペットちゃんがより良い処に生まれ変わってくださいますことを日々祈り、皆様の心に寄り添っていけるような場所であり続けるよう精進してまいります。

ご不安なこと、ご相談などございましたら、お気軽にお声掛け頂ければと存じます。